



2021年7月29日

各 位

会 社 名 NEC ネットエスアイ株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役執行役員社長 牛島 祐之  
 (コード番号 1973 東証第一部)  
 問 合 せ 先 経理部長 谷 祐輔  
 (TEL 03-6699-7000)

### 2022年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月27日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～9月30日)連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～9月30日)連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2021年4月27日発表)	百万円 145,000	百万円 7,000	百万円 7,000	百万円 4,500	円 銭 30.22
今回修正予想 (B)	147,000	8,700	8,700	5,500	36.93
増減額(B-A)	2,000	1,700	1,700	1,000	—
増減率(%)	1.4	24.3	24.3	22.2	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	151,205	6,732	6,778	3,967	26.64

#### 2. 第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由について

当社の事業領域におきましては、企業向け分野では、新型コロナウイルス感染症収束の見通しがつかない中、テレワークを中心としたDX<sup>(※)</sup>/働き方改革分野の需要が拡大しており、ハードウェア製品を軸としたネットワークに関するシステムインテグレーションから、顧客課題の解決を軸に、DX技術を活用したソリューションサービスの提供へと事業モデルの転換が一層進展し、より高付加価値で収益性の高い事業が増加するものと見込んでおります。また、通信事業者向け分野では、5Gに向けた設備投資が動きつつあり、お客様との信頼関係が強化される中で、対応領域の拡大や新たなビジネスに繋がってきております。これに伴い、第1四半期連結累計期間において、利益面では、より高付加価値で収益性の高い事業が拡大しており、想定を上回る収益性の改善が進んでおります。

以上のような環境下、2022年3月期の第2四半期累計期間連結業績予想につきましては、第1四半期累計期間までの進捗を鑑み、売上高は1,470億円、営業利益および経常利益は87億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億円と、それぞれ上方修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらす影響や半導体不足によるICT製品の供給懸念など、外部環境に不確定な要素があるため、公表済みの予想値を据え置



いております。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

※DX：

Digital Transformation の略。AI・IoT・RPA（Robotic Process Automation）等の最先端技術を用いて、企業・産業の事業活動や都市運営などを大きく変革すること。

以 上